

受賞おめでとうございます

東京都赤十字奉仕団功労表彰

大田区青少年対策地区委員会  
永年功労者 (10年以上)

鈴木 庸行 荒木 秀樹  
河野 行喜 植田 信行

◇金枠支部長感謝状(10年以上)

小泉 育栄 長谷部 一江  
天沼 逸子 亀山 政美  
野口 美都子 松浦 カズ子  
遠藤 輝子 石栗 正代

◇銀枠支部長感謝状(5年以上)

町田 歳貞 上原 祐子  
平林 千賀子 山田 ひろ子  
大瀧 真理子 西嶋 恭子  
堀口 和子 内山 芙佐子  
吉田 陽倅 中村 敏江

新井宿特別出張所職員の

東日本大震災被災地レポート

東日本大震災から、半年が経過いたしました。みなさんは、大震災の揺れを体験し、どう感じましたでしょうか？

私は、8月4日から11日までの8日間、職場の方々の協力もあり、宮城県気仙沼市に派遣で仕事をしてきました。まず、ホテルにチェックイン。ホテルでは、「蛇口の水を飲まないでください」と注意され、フロント横に1ℓのペットボトルが店舗であるかのように並んでいました。

大田区から、3人の職員が派遣され、それぞれ別の仕事になりました。私は、気仙沼から車で30~40分の体育館の卓球場内で、拾得物の引渡し、データ入力、拾得物の乾燥・整理等を行いました。

一緒に仕事をした人々も被災した臨時職員の方でした。お見えになる方は、被災して家や家財等が流された人、家族・身内が被災して何か無いかと探す人…。ちょうどお盆前にいたので、遠方から来る方もいました。また、市役所の職員の方の家族の写真を職員が見つかり、教えていた姿が印象的でした。まだまだ、拾得物等まで気が行かない人も見受けられました。ただ、そういう方々の話を、少しでも聞けたことは私にとって良い経験になり、記憶に留めていきたい事だと思いました(当然、良い話・悪い話もあります)。

派遣中は休日なしでしたが、時間の合間を見て気仙沼・南



陸前高田市役所

公立志津川病院

編集後記

今号の特集の一つ目は、入四小学校創立80周年記念記事です。第一期生の松浦仁さんより寄稿していただきました。その記憶力に感嘆しました。来年は、入二小学校創立90周年を迎えます。是非卒業生の方々の寄稿をお待ちしています。

二つ目は、防災特集です。東日本大震災を経験し、各町会とも(阪神淡路大震災以来防災に

力を入れてきましたが)、今後の取り組みを伺いました。ご家族で一時避難場所の確認、防災用具、備蓄品の点検など防災について話し合っただけだと思えます。

その他、新井宿特別出張所の方の被災地レポート、救急医療情報キット、日赤病院完成、義援金の記事など掲載しました。(加藤編集委員)

三陸(志津川、歌津)・陸前高田と視察させていただきました。一緒に視察し、話をしましたが、感じ方、思いは人それぞれだと思いました。みなさんも時間が許すならば、一度、自分で見て、自分で感じてみてはいかがでしょうか?その思いは、人それぞれ違うと思います。ぶつかり合うことなく、他の人と、共鳴すること、しないことを意見交換することも自分の体験になると思います。

最後に、災害時は、まず、自分の身を守ってください。それから、家族・親族・地域・会社等ありますが、それぞれの方の力の集まりが無ければ、災害時の活動が成り立たないと思います。警察・消防・役所等の職員についても自分の身体が無ければ、仕事も成り立たないのです。地域の方も、自分の身を守り、そこから家族・近隣の方々、と広げていける人になってください。

\* 大森赤十字病院全館オープン \*

10月11日、大森赤十字病院が全館オープンしました。オープンに先立ち9月30日に内覧会が開催されました。新病院は「災害に強い病院」として免震構造を採用しています。また、講堂を正面玄関脇に配置し、災害時には救護活動のスペースとして活用します。



〔講堂〕災害時には窓を全て開放。負傷者が濡れないよう、ひさしも大きくなっている。

☆ 東日本大震災義援金のご報告 ☆

9月末日現在、新井宿地区自治会・町会3,618,547円、新井宿出張所義援金ボックス827,645円、合計4,446,192円の義援金が集まりました。ご協力ありがとうございます。

※義援金は、出張所窓口で来年3月末日まで受付中です。

Table listing editorial board members and their affiliations, including various neighborhood associations and committees.

監修 新井宿自治会連合会 事務局 大田区新井宿特別出張所 大田区中央4-31-14 ☎3776-5391 http://www.city.ota.tokyo.jp/omori/index.html



「かにのともだち」 山王小1年 新居 裕貴さんの作品

子どもを育む三つの輪 第2回 入新井第四小学校

今回は、今年開校80周年を迎えた入新井第四小学校の特集です。開校の年に入学した新井宿六丁目町会の松浦 仁(しのぶ)さん(87才)から当時の思い出を寄稿していただきました。

私は昭和6年4月に1年生として入学、入四小学校にとって開校最初の1年生です(したがって第6回卒業生となります)。2年生~6年生は入二小学校等他の学校からの転校生でした。すでに80年以上経ち記憶もおぼろげですが、当時のことを思い出してみました。当時の校舎は木造2階建て、敷地は今の4分の3位、現在の西側体育館・プール等のある場所には、一般の民家が数軒並んで建っていました。数年後その家が取り壊され空地となり、校舎の建築が始まるまで荒地のまま水溜りの上を赤とんぼがたくさん飛びまわっていたのを覚えています。東側の鳥小屋のある所には2階建ての校舎があり、その1階が1年生の教室になっていました。教室から直接運動場に出られるようになっていたと思います。運動場はただ整地しただけで、休み時間には靴を履き替えて運動場に出た気がします。

当時の学級は完全な男女制で男子組・女子組の2つだけで、当時の人数はわかりませんが卒業の時は男子組45名、女子組56名でした。正門の前の校舎の正面に玄関があり、その左側が教員室で(今と大体同じ所)、確か2階に1教室、裁縫室といって畳敷きの教室がありました。冬は各教室に石炭ストーブが置かれ、給食等ないので持参したお弁当を安全のためストーブを囲んで立てられた金網につるして温めて食べていました。また当時は家へ食べに帰ることもできました。

当時は音楽といえばオルガンだけでした。私の家が学校に近いこともあり、今ではプラスバンドの音がよく聞こえます。(寄稿文より)

このようにして開校した入四小は、当初から地域とともに発展してきました。学校での最近の取り組みについて取材しました。

寄稿文にもあるプラスバンドは、大田区内でも高く評価され実績を積んできました。入四小は、家庭・地域と連携しながら実りある教育活動を日々実践し成果を上げています。特色ある活動は以下のとおりです。

- 図書館ボランティア
●ガーデニングボランティア
●おやじの会



### 山王三丁目東自治会

当自治会では、住民の安全を守ることが第一と考え、火災報知機設置の呼びかけや手続きのサポートを行いました。また、住民一人ひとりが有事に備えていたきたいとの思いから、救急医療情報キットを全戸に配布しました。

これからの取り組みとして、AED訓練を現在検討中です。

### 山王三・四丁目自治会

東日本大震災の後、当自治会の防災体制をさらに強化するため、以下の取り組みを行いました。

- ①特別防災本部を設置、防災体制の見直しと対策を検討しました。
  - ②4月後半から2週間、地区毎に特別防災訓練を実施
  - ③救護班が中心となって救急医療講習会を開催
  - ④危険箇所の点検実施（ブロック塀の改修を依頼）
- 防災協力隊が中心となって、災害に強い街づくりを目指していきます。ご協力をお願いいたします。

### 山王三丁目町会

東日本大震災を踏まえて、9月の定例会で決定した山王三丁目町会の取り組み

- ①救急医療情報キットを、一人暮らしの高齢者・障がい者に万が一に備えて配布。近所の顔見知りの方を中心にグループで対応
- ②11月20日、防災訓練を実施
  - (イ)一時集合場所からの避難
  - (ロ)炊き出し（メンバー構成、方法、手順等再確認する機会でした）
  - (ハ)大森消防署の協力を得て消火器の初期消火・C級・D級ポンプ操法の訓練を実施

\*防災訓練を町会が行う時に、一人でも多くの若い力があればたいへん心強く有難く感じています。

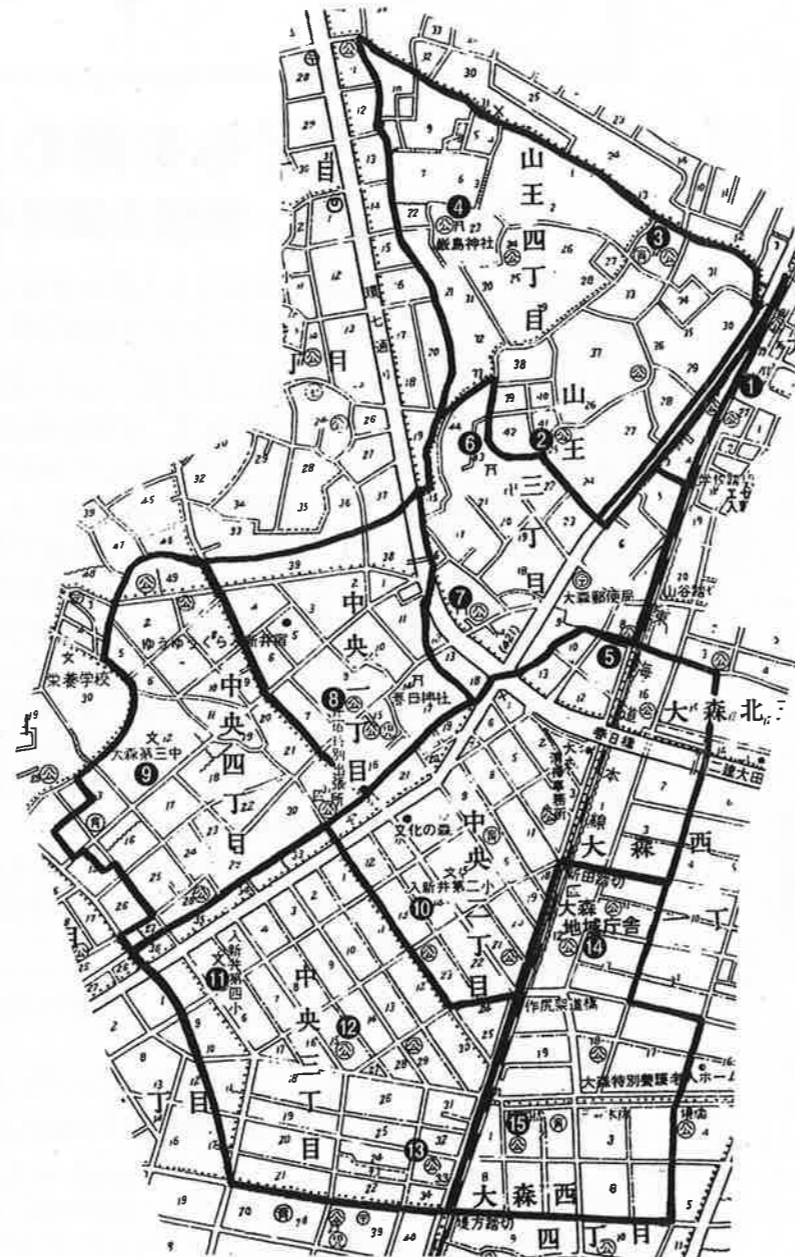
### 中央一丁目町会

わが町会は防災対策として、これまでも、参加者200人規模の防災訓練を年1回、市民消防隊と協同で行うポンプ操法訓練、機器類の点検整備を毎月1回、その他防災パトロール、街灯点検、居住高齢者の把握などを実施してきました。これに加えて、今年度は救急医療情報キットの配布と、3月11日の経験を踏まえて防災委員会を設置し、防災マニュアルなど非常時における指針などを作成することとしました。防災の要は、地域コミュニケーションの活性化。顔の見える町内会とすべく、皆様の積極的なご参加をお願いしています。



## 東日本大震災後の新たな防災対策は？

3月11日のあの大きな試練を見据えて、わがまちの防災の見直すべき方針と、新たに加えるべき対策を各自治会・町会に質問しました。



新井宿地区 一時集合場所



一時集合場所	避難所
■山王三丁目東自治会 ①入新井西公園	入新井第一小
■山王三・四丁目自治会 ②サンサン根岸児童公園 ③山王公園 ④弁天池児童遊園	馬込東中
■山王三丁目町会 ⑤山王三丁目児童公園 ⑥熊野神社 ⑦根ヶ原児童遊園	大森第三中
■中央一丁目町会 ⑧春日公園	
■中央四丁目町会 ⑨大森第三中学校	
■新井宿五丁目町会 ⑩入新井第二小学校	入新井第二小
■新井宿六丁目町会 ⑪入新井第四小学校 ⑫観音通り児童公園 ⑬さくら通り三丁目公園	入新井第四小
■新井宿七丁目町会 ⑭大森地域庁舎 ⑮新井宿七丁目児童公園	入新井第二小

### 救急医療情報キットとは・・・？

高齢者や障がい者などの安全・安心を確保することを目的に「かかりつけ医」「薬剤情報提供書(写)」「持病」などの医療情報や、「診察券(写)」「健康保険証(写)」などの情報を専用の容器に入れ、自宅に保管しておくことで、万一の救急時に備えるものです。新井宿自治会連合会では、共同購入して各自治会・町会で配布しました。ご希望の方は、各自治会・町会にお問合せください。



### 中央四丁目町会

中央四丁目町会では、従来から近隣の町会や大森消防署・大森消防団第四分団と共に合同の防災訓練を実施していますが、今回の大震災を受けて、より実戦的な災害勉強会や防火防災会議を開催し、10月16日には大森三中で初期消火訓練・市民消防隊放水実演などの防災訓練を実施しました。

また、市民消防隊に新たなC級ポンプを装備し、高齢者・障がい者など万が一に備えたい人のための「救急医療情報キット」の配布も開始しました。

### 新井宿五丁目町会

平成7年の阪神淡路大震災後、防災に力を入れてきました。東日本大震災後は今までにも増して、  
①装備品の拡充、点検  
②災害弱者の方々への取り組み  
③年1回の防災訓練の実施、その参加者の増加を計るための立看板、ポスターなど広報活動の強化  
④防災教室の開催（年4回位予定）  
以上、防災力の向上を目指して努力しています。

### 新井宿六丁目町会

今日までも町内の防災訓練に力を入れてきましたが、3・11の大震災は多くの教訓があり見直しがありました。今後の対策として、  
・非常時に、町内で携帯が不通になった時の対応に無線機を複数、東京都の「地域の底力再生事業助成」を活用し、購入予定です。  
・本年実施した防災訓練は「炊きだし」の訓練もやりました。  
・救急医療情報キットの配布を推進していますが自身のための備えである事でさらに常時訴えていきます。

### 新井宿七丁目町会

3月11日の東日本大震災の教訓を考えて、  
①地震発生時に対する自己の対応（まず身の安全、その後避難場所へ）  
②当町会は内川を挟んでいるので、津波が発生した場合まず津波の道となると考え、津波発生時の避難場所を、大森西一丁目の住民は大森地域庁舎又は都営住宅に、大森西四丁目の住民は近くの高層住宅へ避難するよう要望しております。